

2025年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2025年2月10日

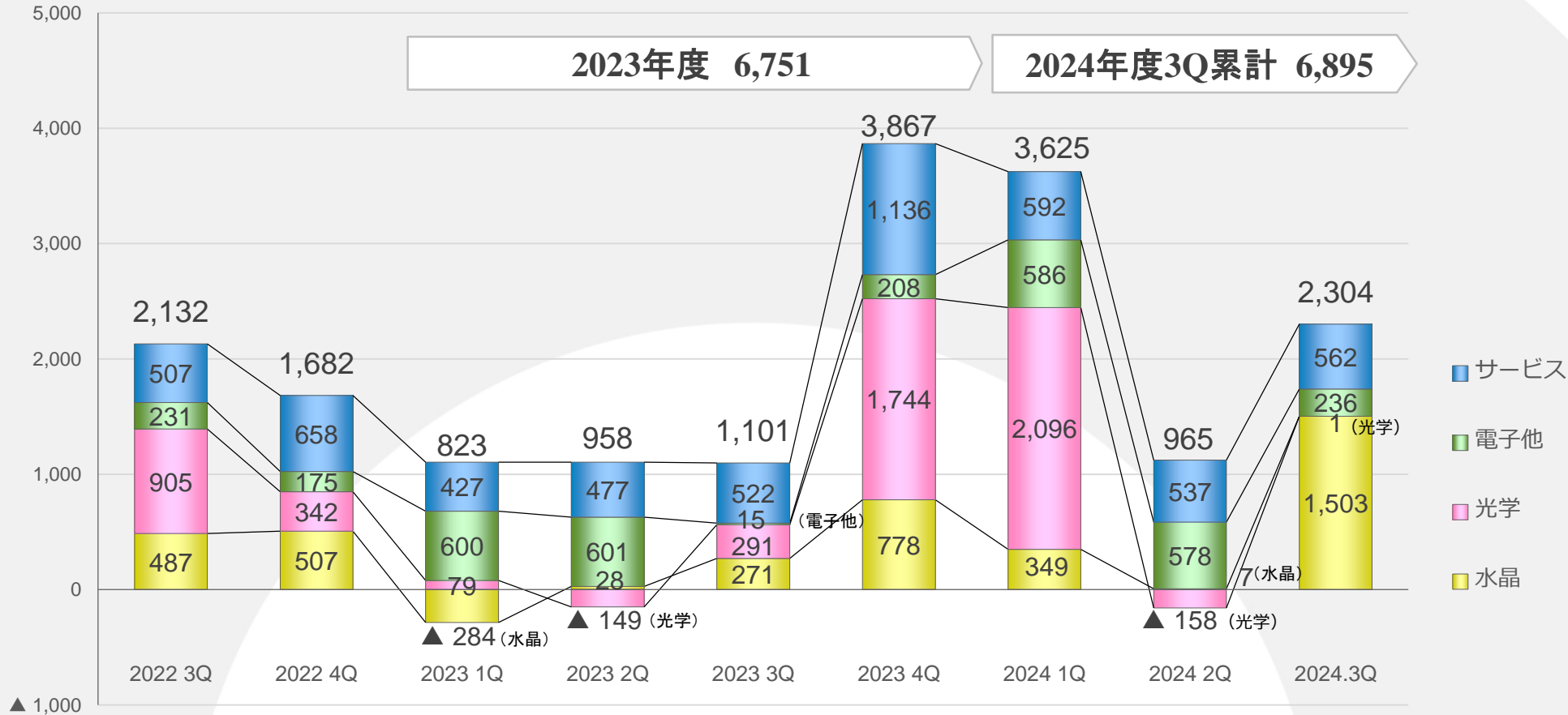
スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384 東証スタンダード市場

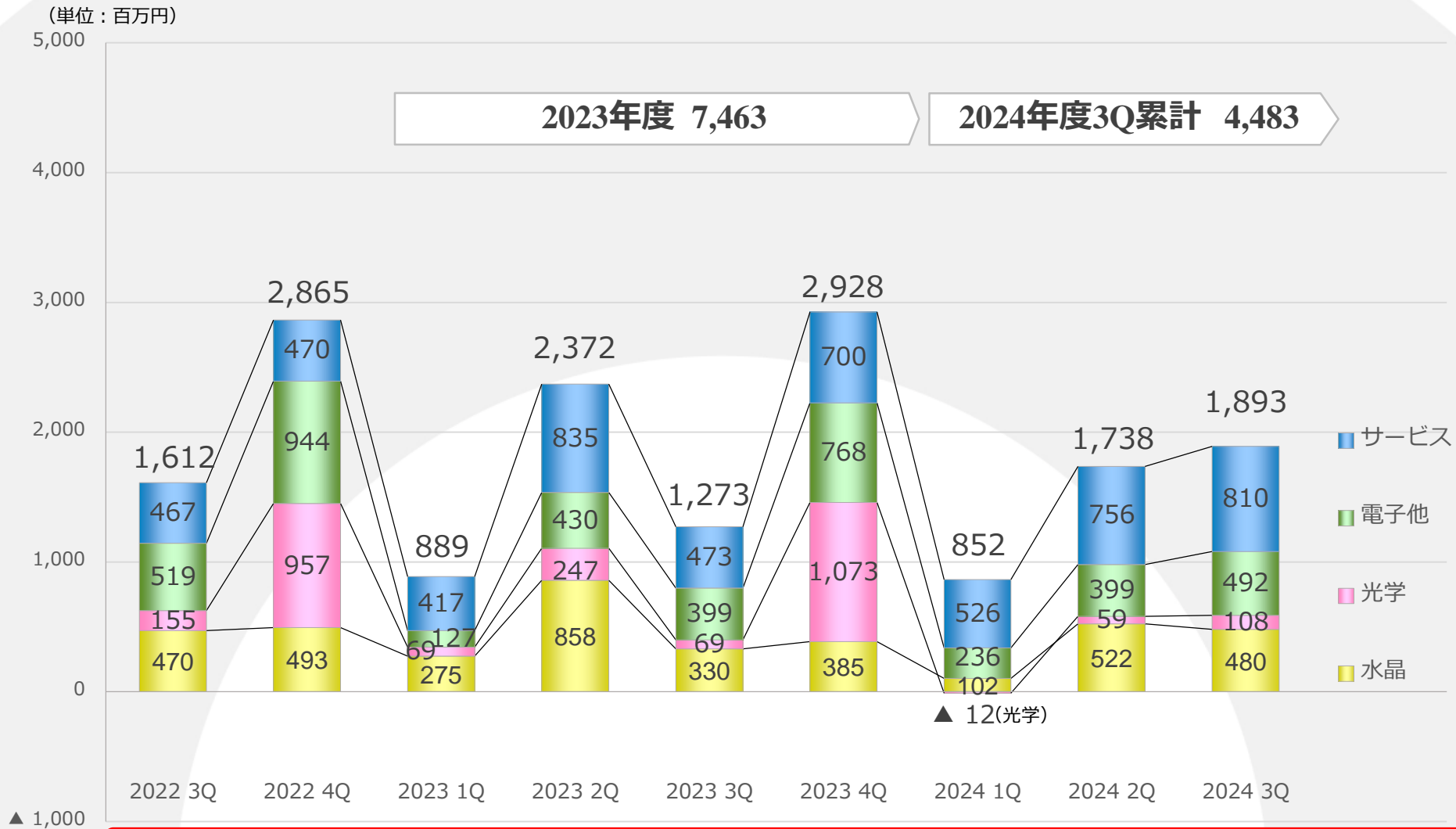
(百万円)	2023年度		2024年度			
	3Q累計実績		3Q累計実績		対前年同期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	2,883	—	6,895	—	4,011	139.1%
売上高	4,535	100.0%	4,483	100.0%	▲52	▲1.2%
営業利益	▲139	▲3.1%	90	2.0%	230	—
経常利益	▲117	▲2.6%	116	2.6%	234	—
当期純利益	▲105	▲2.3%	53	1.2%	158	—

(単位：百万円)



内訳	前年同期	2024 3Q累計
サービス	1,427	1,692
電子他	1,218	1,401
光学	222	1,939
水晶	14	1,861
計	2,883	6,895

2023年度の1Qに水晶業界、2Qに光学業界で受注済装置大幅仕様変更による受注額減額等あり。
2024年度2Q光学業界の受注高がマイナスになっている理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整による。

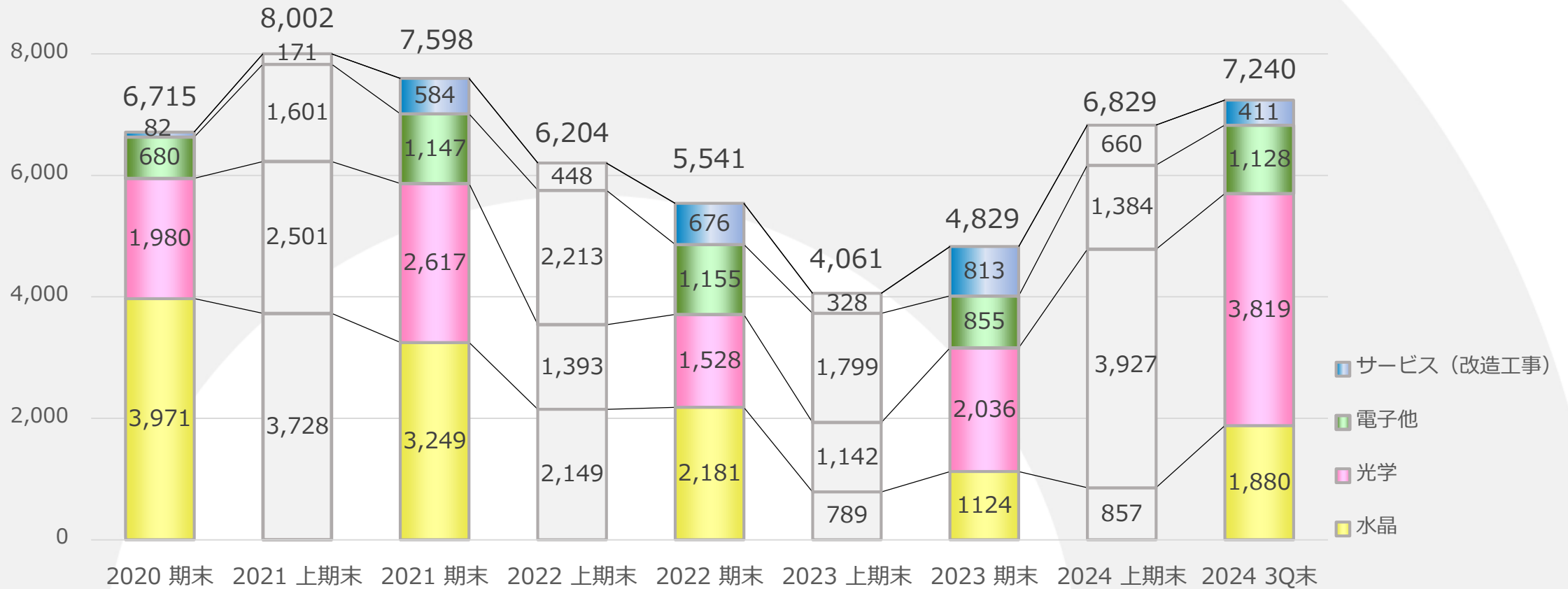


内訳	前年同期	2024 3Q累計
サービス	1,726	2,093
電子他	957	1,128
光学	385	156
水晶	1,465	1,105
計	4,535	4,483

2024年度1Q光学業界の売上高がマイナスになっている理由は、海外子会社との内部取引に関する連結調整による。

(単位：百万円)

10,000



1. デバイスメーカの設備稼働率は回復基調にあるものの設備投資姿勢は全体的には低調な中で以下の受注を獲得
 - ① 水晶業界は、量産用装置に加え、製造工程変化（個片→ウェハ）及び高周波化に対応した平坦化加工装置（プロトタイプ）を国内外メーカーより受注。第3四半期には一部の国内外メーカーより大口受注を獲得。
 - ② 光学業界は、第1四半期にスマートフォンカメラレンズ向けの大口受注を獲得。また、車載カメラレンズ、レーザーダイオード向け受注を海外メーカーより獲得。
 - ③ 電子その他業界は、SAWデバイス向け装置をはじめ、産業機器用部品関係、光半導体関係、衛星用部品関係、サーミスタ、半導体部品への耐プラズマ膜、ジャイロセンサー、自動車部品への加飾用途等の装置を受注。
2. 顧客事情（設備導入準備遅延）等により一部案件の売上計上が第4四半期に繰延
3. 新規営業先を含めたデバイスメーカー要請に基づくサンプル成膜・依頼実験への対応を継続
4. 今年度市場投入予定装置の量産仕様確立に向けた開発継続

業績の見通し及び今後の展望

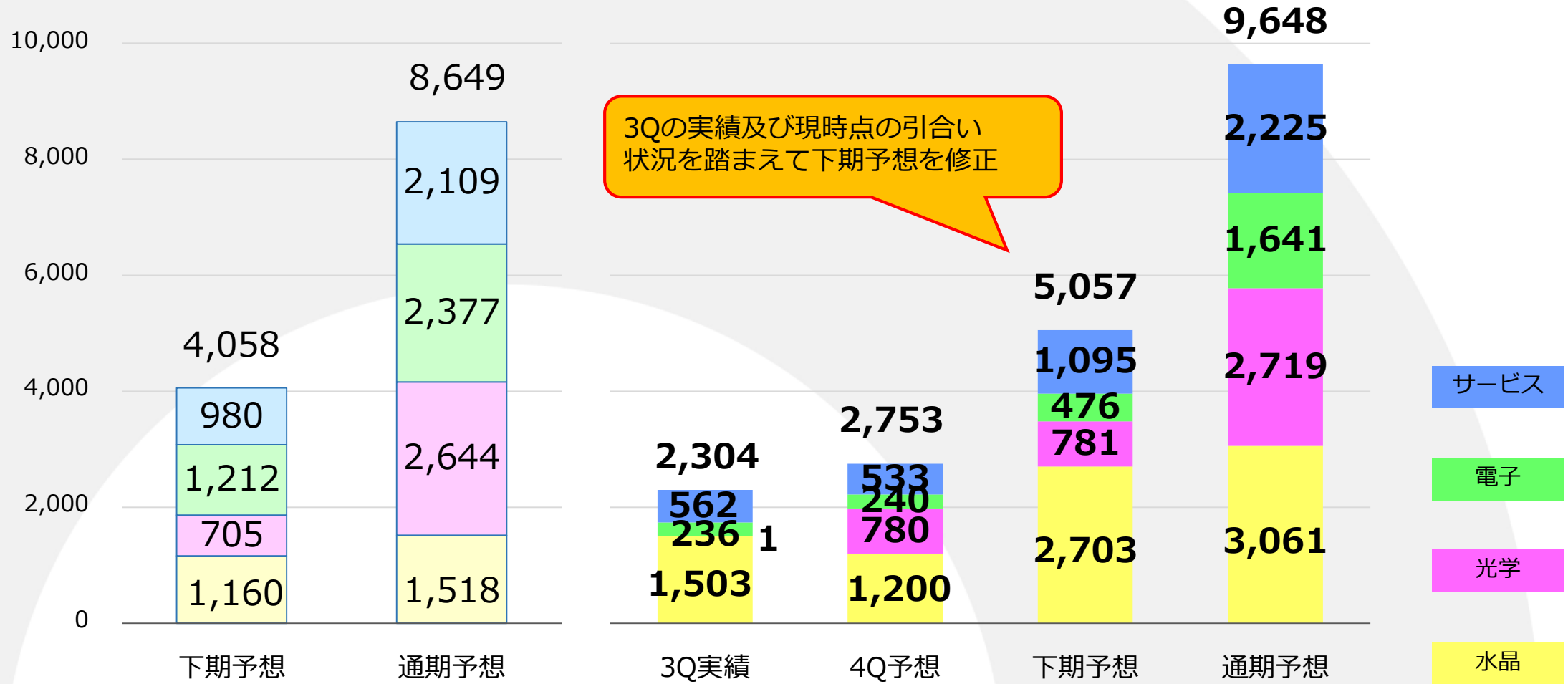
(百万円)				4Q 予想	通期 予想	直近開示 (11/8)
	上期 実績	3Q 実績	3Q累計 実績			
売上高	2,590	1,893	4,483	4,178	8,662	8,662
営業利益	10	80	90	376	466	466
経常利益	▲16	133	116	349	465	465
当期純利益	▲40	93	53	244	297	297

※業績予想に修正はありません。

2024年度 通期受注計画 (連結)

【 前回予想 (11/8開示) 】

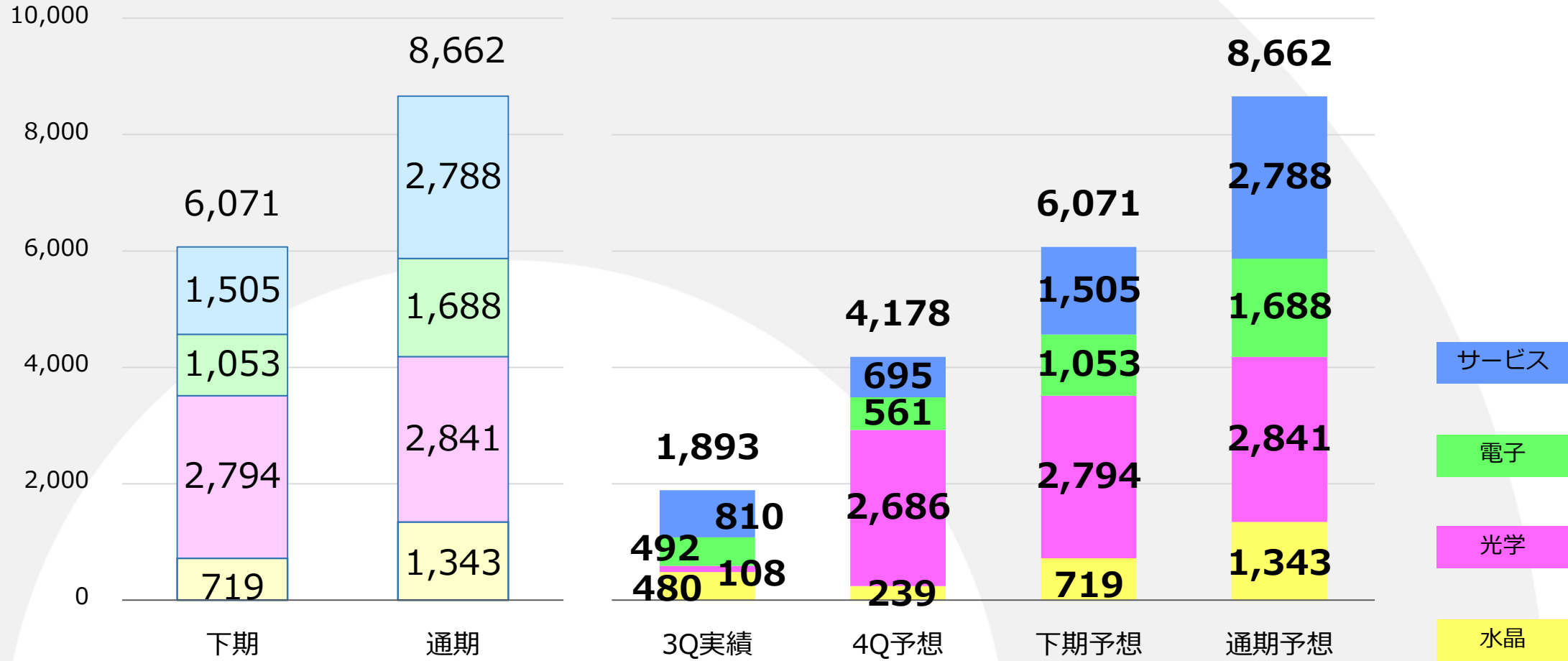
【 今回予想 】



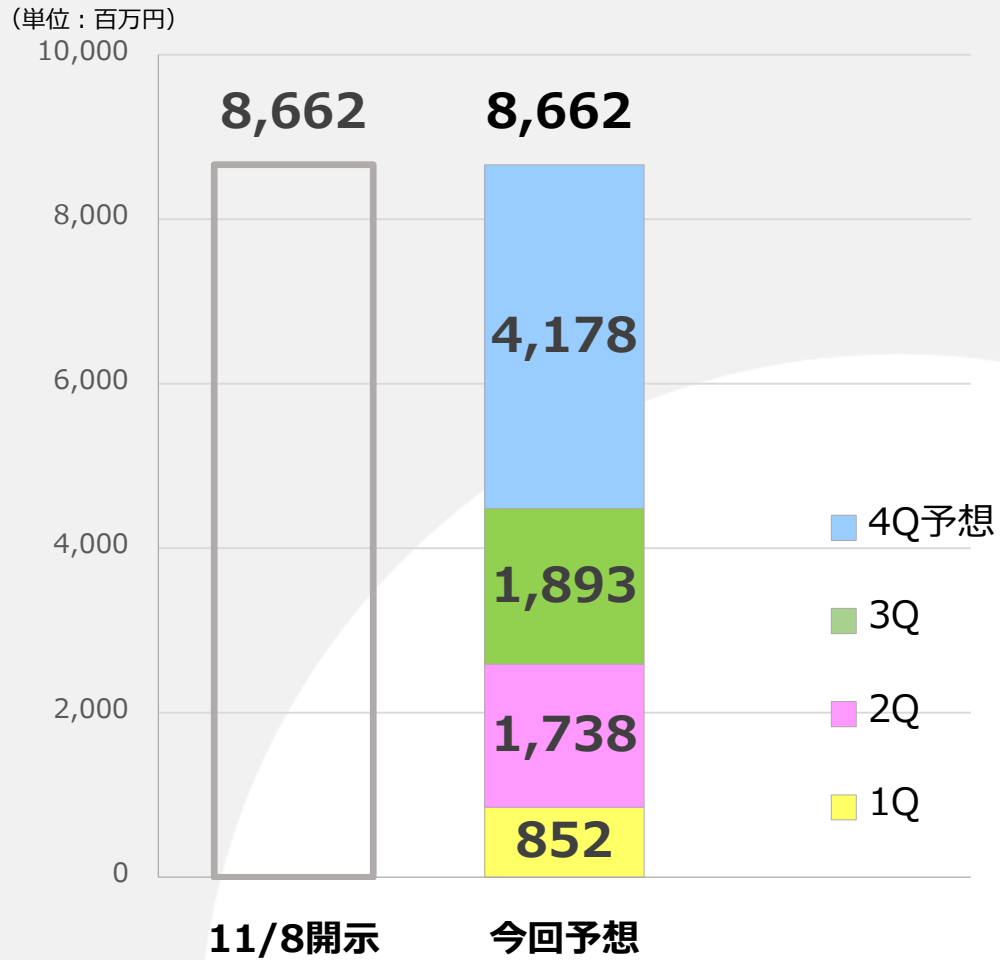
2024年度 通期売上計画 (連結)

【 前回予想 (11/8開示) 】

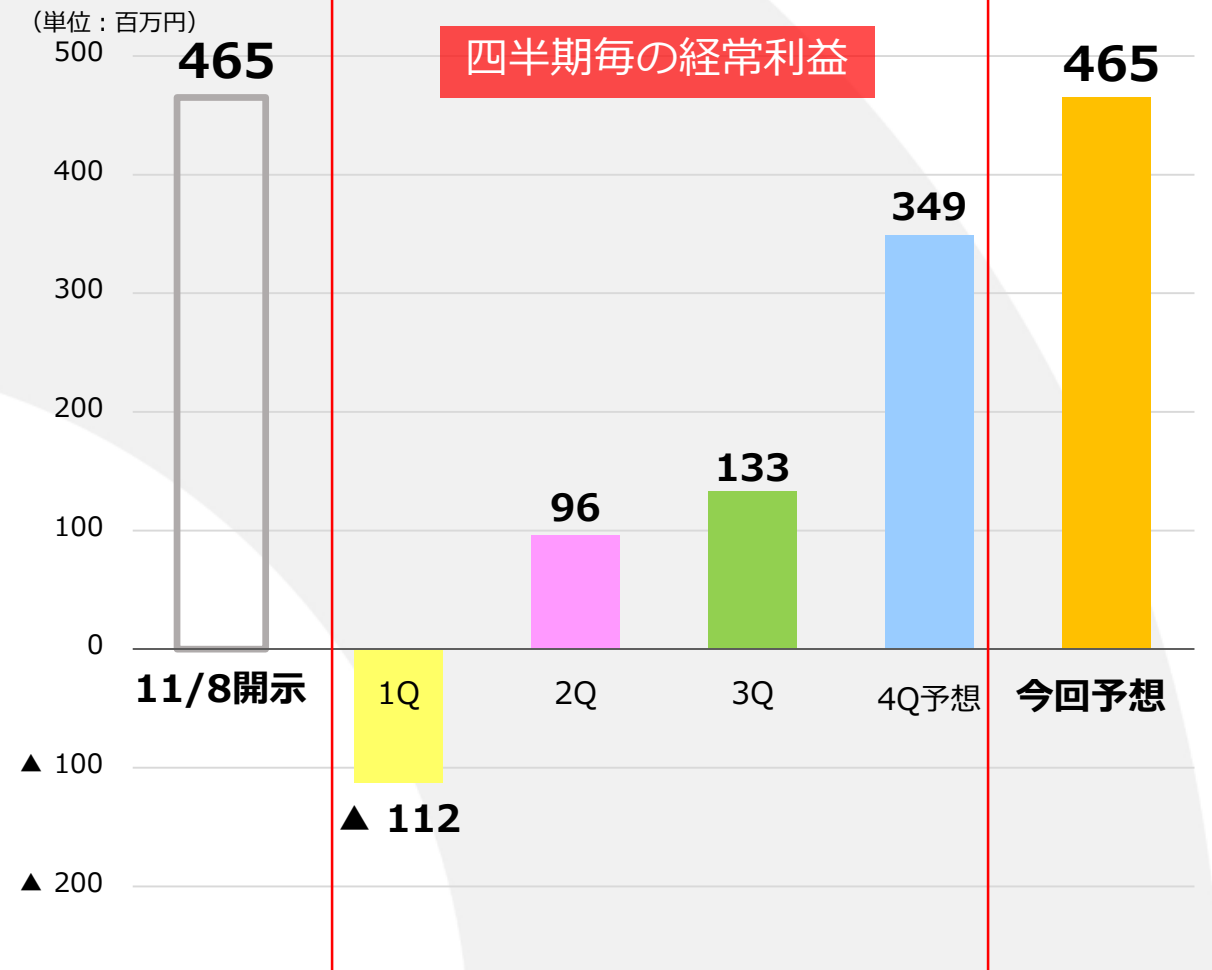
【 今回予想 】



売上高



経常利益



1. 受注・生産量の確保
 - ① 2025年度売上に向けた受注の確保
2. 生産計画の着実な実施及び利益率向上
 - ① 製造工程の管理徹底
 - ② 変動費・工数の削減
 - ③ 経費削減（不要不急経費）
3. 次期戦略装置の開発推進
 - ① 開発装置の市場投入
 - ② 開発計画の着実な実施と成果実現
4. コスト競争力の強化
 - ① 徹底したコストダウンによる低コスト体質への転換

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.